

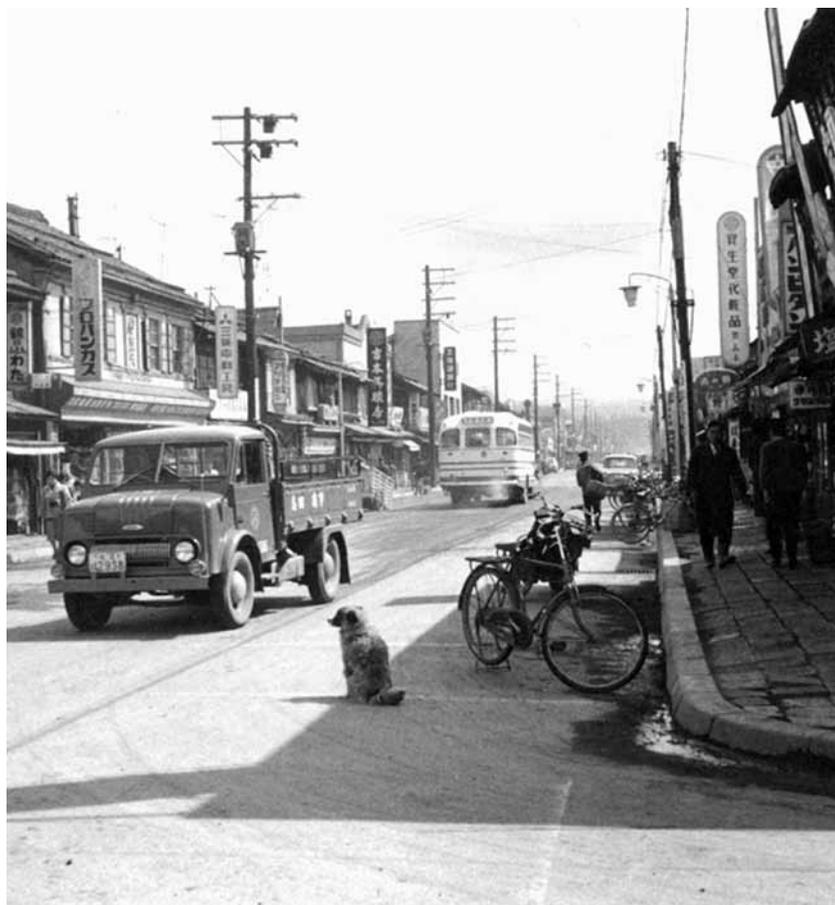


土井道子 議員

行政運営

行政・地域資料のデジタル化を

一部を平成 27 年度から実施予定



昭和 36 年の商店街の様子

議員 現在発行されている「広報くりやま」は、インターネットでも検索できるが、20年前以上の出来事を調べるには、手がかりが少ない状況にある。本町について調べている人や、栗山町にかつて住んでいた方が、過去の情報を知りたい場合、昔の写真や記録が容易に入手できることが大

切である。そこで、「ふる里は栗山です」を掲げて中身を充実させるために、残存している役場の明治時代からの古文書や地図などをデジタル化し保存を行い、だれもが閲覧できる環境にはどうか。
町長 栗山町の過去からの資料の散逸を防止する上でも、一元的に管理す

ることは重要である。また、インターネットで検索できる環境は、町民や町にゆかりのある方にとつても便利と考える。現在、本町でのIT導入以前の資料の量は膨大で、広報及び古文書のデジタル化については、必要と認めながらも、例えば、町広報でも420万円の費用がかかるため、

費用対効果を勘案し、実施しないと判断している。なお、広報写真及び記録映像のデジタル化は、第6次総合計画において、平成27年度から実施を予定している。
再質問 デジタル化は諸経費がかさむことは理解できるが計画的に、例えば、1960年代の人口

が多い時代の写真や家文書などを整理・保存し、その資料によって高齢者の皆さんが当時の思い出を甦らせ、次世代へ語り継ぎきっかけになるのではないか。
保存資料は、部署を定め一元管理し、住民に周知するのが望ましい。資料収集は、人脈を駆使し町内会や団体等との連携が大切である。各種事業やイベントの記録は、担当課で保管していると思うが、一元管理し点検作業をすることが大事ではないかと思うがどうか。

町長 町史編さんは10年



町長 議員も図書館長をされていた際、資料のデジタル化を手掛けたことはなかったのか。また、実際に取り組んでみてどうだったか。
議員 町の予算により一部昭和35年当時の地図等を業者委託しDVD化したが、図書館ホームページには掲載していない。また、開基90年の映像もDVD化したが、インターネット配信を計画したものの未だ実施されていない。図書館でデジタル化した記録は、管理し一般に貸出している。